

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

鈴鹿大学で「三重バイオレットアイリス」との連携授業を実施しています！

鈴鹿大学では2年次演習において、地元のハンドボールチーム「三重バイオレットアイリス」と連携した授業が始まりました。

授業テーマは「グループワークを通じて課題設定力および課題解決力を高める」ことです。

はじめの授業では、一般社団法人日本ハンドボールリーグで理事も務めておられる三重バイオレットアイリスGM梶原様、そして東京2020オリンピックに出場されたコーチの石立様にお越しいただき、チームの活動や地域でチームが果たしている役割などをお話していただきました。

石立様からは、オリンピックのあとに感じたことや海外でのプロ経験で一番苦労したこと、そして学生時代にやってあげよかったことなど、これから進路を考える学生にとって、貴重な時間となりました。

梶原様からは、「スポーツチームが地域にとってどんな意味を持つのか知って欲しい」や「学生が自らのキャリアプランを考えるとともに、自分が鈴鹿のために何ができるかを考えるきっかけになって欲しい」という想いでお話いただきました。これから、理論に加えて実践的な学びを三重バイオレットアイリスと一緒につくっていきたいと思います。

▶授業の様子は
[こちら](#)をチェック☞

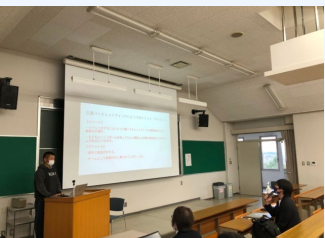


そして、次の授業からは学生が三重バイオレットアイリスにホームゲームで実施する企画を提案させていただきました。

学生は発表を終えたあとに、「この文章が足りなかった」や「このスライドがあれば伝わりやすかった」などといった発言が聞かれ、様々な気づきを得ることができました。

GMの梶原様からは、学生の企画に対して鋭いご意見をいただき、良い緊張感の中で企画発表会を実施できました。

これから、学生はご指摘いただいた部分を修正し、ホームゲームでの企画の実現、そして運営に向けて頑張っていきます（文責：鈴鹿大学 紺田先生）。



▶授業の様子は
[こちら](#)をチェック☞



現代社会理解特殊講義「三重の産業」が開講しました！

三重創生ファンタジスタオリジナル科目である現代社会理解特殊講義「三重の産業」が開講中です。

オムニバス形式で各回事前学習（個人・グループワーク）と本講義のセットで外部の先生方にもゲストスピーカーとして登壇していただきます。履修者は61名（人文20、教育19、工学11、生物2、医学9）。ハイブリッド形式で配信予定です。

西浦 尚夫氏（三重北勢地域地場産業振興センター）

：伝統産業とイノベーション

橋本 純氏（友栄水産）：南伊勢町の水産業

三島 隆先生（三重大学）：三重県の農業と6次産業

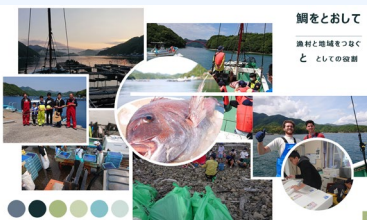
織田 拓氏（MIO）：美杉地域の観光と活性化

雲井純コーディネーター（三重大学）：自動車・航空産業

鬼頭 浩文先生（四日市大学）：防災と事業継続

野崎 哲哉先生（三重大学）：

地域における金融業の果たす役割



網をおして
漁村と地域をつなぐ
としての役割

◀第5回授業資料
橋本氏（友栄水産）

三重創生ファンタジスタエキスパート資格合格者が、NHKナビゲーションに出演！

三重創生ファンタジスタクラブの岡田まりさん（生物資源学部4年生）が、NHKナビゲーションに出演しました（11月19日放送）。岡田さんは、2020年度三重創生ファンタジスタエキスパート資格面接の合格者でもあります。

コロナ禍で学生が模索し、それぞれの学びを通して学生生活を切り開く様子が紹介されました。岡田さんは、絵地図（津市美杉町伊勢奥津宿の昭和10年頃の様子をテーマ）を作成し、デザインの修正を経て、完成・商品化へ繋がりました。

岡田さんより一言。「三重で出会い、多くの気づきを与えてくださった人々がいたからこそ、「好き」を絵地図という形で表現することができました。今後も、目まぐるしく変化する状況を力強く乗り越え、邁進していく所存です。」

「ヒトチズプロジェクト」について、
詳細はURL (facebook) をご覧ください。

▶ <https://www.facebook.com/ateliermariiseokitsu/>

高等教育コンソーシアムみえ News

三重創生ファンタジスタ養成、高等教育コンソーシアムみえ及び各構成機関の情報誌です！

三重創生ファンタジスタオリジナル科目 三重学：食と観光実践が開講しました！

三重創生ファンタジスタオリジナル科目「食と観光実践」（県内高等教育機関合同開講授業）が始まりました。テーマは、“松阪駅周辺の「食と観光」をPRするプランの作成（5W1H）”です。皇學館大学4名、四日市大学7名計11名が参加しています。新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえて、前半3回はオンライン講義を行いました。

- ・第1回 9/25（土）：オンデマンド形式
ご当地グルメによる地域おこしの事例を小林 慶太郎先生（四日市大学）よりご紹介いただきました。
 - ・第2回 10/2（土）：オンデマンド形式
松阪市観光協会によるPR動画（約20分）を視聴しました。
 - ・第3回 10/10（日）：オンライン・ライブ形式
三重県総合博物館（MieMu）の太田 光俊学芸員より「三重県への観光の旅と食へ駅弁の旅」と題して講義していただきました。
 - ・第4回 10/16（土）：松阪市産業振興センター
当日の授業は、十分な広さの会場をお借りし、マスク着用や手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保など可能な限りの感染症対策を講じたうえで、実施しました。
富本 真理子先生（鈴鹿大学）の講義「観光産業の現状と課題」では、コロナ前・禍中を通して、これから必要な観光の視点はマイクロツーリズムの地域・地元への回帰、日常の延長に観光があることを教えていただきました。また、その後のグループワークでは、授業に参加した留学生を含め、障がい、バリアフリーをキーワードに白熱した議論が展開されました（写真右）。
- また、観光協会へ直接足を運び、現在どのようなマップが作成されているのか情報を収集し、それに基づきバリアフリーに特化したマップについて検討しました。



参照先：https://conso-mie.jp/2021/11/01/0925_1016shokutokanko/

各高等教育機関でダイバーシティに関する授業を実施しています！

高等教育コンソーシアムみえでは、県内高等教育機関の学生に対し、三重県が現在取り組んでいるダイバーシティ社会推進の考え方を県内に広める事業として、授業や公開講座を実施しています。

- ユマニテク短期大学 2021年10月8日（金）開催
- 三重大学 2021年10月27日（水）開催
- 鈴鹿医療科学大学 2021年11月10日（水）開催
引き続き、各機関で実施します。

【お知らせ】

「ダイバーシティに関する公開フォーラム」を開催します。
日時：2021年12月11日（土）
場所：ユマニテク短期大学

また、次号以降で実施状況を紹介いたします。
本事業についてはこちらから

▶ <https://conso-mie.jp/contribution/contribution-diversity/>

令和3年度「みえまちキャンパス」（四日市看護医療大学）を開催します！

構成機関の学生たちにおける地域活動発表の場「みえまちキャンパス」について、今年度は四日市看護医療大学でZOOMによるオンライン開催にて行います（2022年2月中旬を予定）。

開催にあたっては、活動発表団体の募集を行います。

近日中に高等教育コンソーシアムみえHPへ募集案内の記事を掲載するので、下記URLをご確認ください。

<https://conso-mie.jp/information/>

（NEWS・イベント情報ページ）

皆さまのご参加をお待ちしています！

TOPICS

構成機関の活動紹介として、四日市大学より情報提供していただきました。

▽10月23日（土）に、四日市大学で大学祭が開催されました。サプライズで行った2,000発の打ち上げ花火は、学生が自発的に関係各所と交渉して実現しました。コロナ禍にあっても前向きに、主体的に行動できる学生が、地域の大学で育ってきています。今後の活躍に注目していきます！
詳細はURLをご覧ください。

<https://www.yokkaichi-u.ac.jp/yokkaichi-info/archives/3228>

発行元：高等教育コンソーシアムみえ 事務局
連絡先：059-231-9969

下記の機関で三重創生ファンタジスタの養成をしています。

三重大学、四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、四日市看護医療大学、三重短期大学、高田短期大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校、三重県

